

急ぎ過ぎだま 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 638

2022年12月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

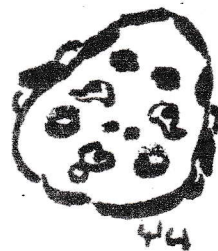
- 「食生活クイズ」の答と解説 2
- 「ひめゆりの少女 16歳の戦場」他 6
- お便利から 10
- 只見線立ちん坊旅 16
- 山仕事 (10月、大平・天童二侯) 18
- け・い・じ・ば・ん 24

たまたまは、
スポーツだけにしよう。

勇ましい議論が聞こえるが、
相手ミサイルの何割を落とせるか、
撃ちもらしたミサイルで何が出来るか、
食料、エネルギーなどの途絶を考えたか、
都合の悪いことは黙っている。

そもそも、なぜ戦わねばならないのか、
外交努力は尽くしたのか。

危ういかな。



この見本誌

「読 ぼうか」という方は、
年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630
「雑報友の会」
へ 併い込んで下さい。

月 日現在の
会員数 212名

題 字 故 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は税関発足150周年。

山仕事(10月、大平・天竜二俣)

10月25日、急に寒くなりお日様の出ない朝はたまたまガスストーブに焚火。ただし朝・晩食事をとる小部屋で、設定温度は12°C(以下にはならない)。原産をやめてほしいから洗濯は電力需要の少ない早朝に、昼間はテレビを見ず、風呂は太陽熱で。

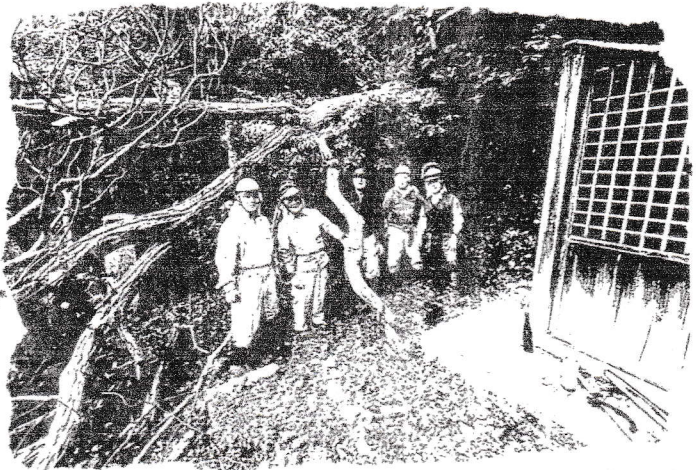
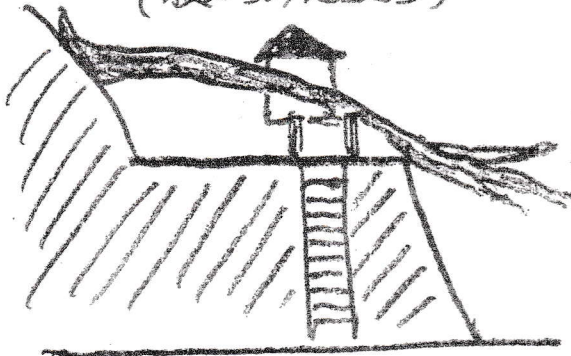
10月27日(木)、晴の5くもり。熱海までは順調だった。だが、藤枝で線路に支障があり高田行きは50分ほど遅れるという。原田さんと熱海駅から「こだま」に。1700円。山崎さんは静岡から「こだま」に乗り、掛川駅で合流。掛川駅前のベンチで日向ぼっこしながら昼食。

敷地駅に着くと正士、久米、若林さんに岡山さんと参加の内田博文さんも待っていて賑やかに迎えられる。この日は、隣りの天竜二俣町で倒木の処理をするため、伊藤(兼、久米、原田さんの買物組と残りの作業組に分かれる。

作業組は正士さんちに行く途中、今秋の豪雨被害の跡を見てまわる。ふだんは小さな流れの敷地川だが、平野部が破堤・氾濫している。小さな橋も一つ落ちている。さかさに流木が集まったあたりが見とれる。しかし、正士さんちは川から30m近く高いので、無事。

身支度をし、道具類を積み込み現場へ。正士さんが理事になっているNPO元気里山の松本さん宅裏山で、径40cmほどのクスの木が倒れていた。そばに福寿神社祠があり、辛うじて無事だった。

(横からみたところ)



石垣にのりかかった枝先から整理していく。幹はバーが40cmのチェーンソーの刃が届かないほどの太さ。根が切れている様子なので、ゴロツキ横転しないよう気をつけながら、持ち運びしやすい長さに切っていく。1時間半ほどで終了。

帰りは、正士さんの持山(下沢)で5~6本のスギが倒れている現場を見る。足場の悪い沢筋で、日を改めて整理することにした。

(夕食) 刺身(シメサバ、コノシロ)、レンコンサラダ、シラスと大根おろし、キクラゲ・マッシュルーム・バーコンのチーズ焼き、肉じゃが、板尾の油揚げ焼き、大根葉と油揚げのきんぴら、イモけんぴ、白菜漬けに正士さんの手打ちそばを久米さんのだしがけで。食後、久しぶりに英ちゃんのカナで合唱。楽しかった。

10月28日(金) 晴れのち曇り。

正士さんのお母さんは近くのテニサービス施設へ。あまり行きたくないようだ。顔見知りが多いけどいらないせいもあるようだ。

久米さんも加わり、家の近く、坂上賢一^①さんの柿園で草刈り。いくらかキが収穫できるかと期待したが、夏の間みんな落ちてしまっていた。やはり、人手が入らぬとダメか。

次に桶ヶ沢^②へ。3段になっている一番近い部分は、強い水流が当たって川岸の樹木は根こそぎ流され、岸の一部はえぐられている。

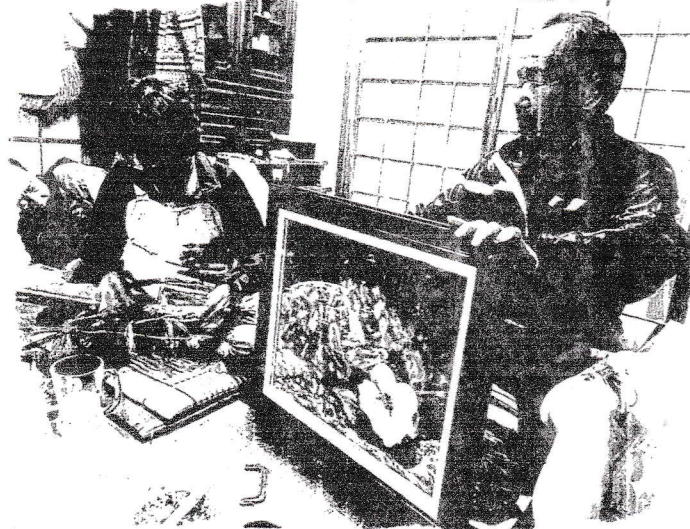
みさくぼ
桶ヶ沢で草刈りの間に、水窪町から1時間半をかけた舟屋、熊谷、中谷さんが来てくれた。3人には、丑^③の裏の高台^③、フェンス沿いのつるやササの整理をお願いした。

(昼) マツタケごはん(舟屋さんの奥家の山で採った)、餃子(熊谷さん)、稲荷ずしとパン(中谷さん)、コンニャクの刺身とクワイミ和え(熊谷さん)、サトメヒイカ煮物、ピーマンと塩昆布炒り、大根サラダ、リンゴ、吸い物。



庭先で豪華な昼食

窪の昔乙女は、家の庭ブルーベリー園の草とりをしてくれて、帰宅。次は、11月24日とのこと。



康工画伯から熊谷さんに贈られた「千里胡麻(花)」の絵

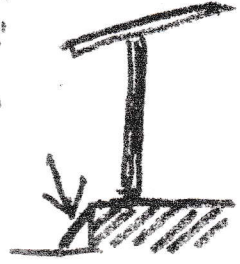


午後は桶ヶ沢の続き、次いでソバ畑^④の草刈り。その間水



夜は、久しぶりに松田俊幸さんが来てくれた。足の具合が悪く作業が遠去かっているが、正士さんち入口の段差に滑り止めの鉄板を貼り変えてくれた。

このほか、式根島の池田清江さんからアメリカ芋(皮が白く糖度が高い、黄金千両か)と、足がツリやすいばくにツムラの「68(芍薬甘草湯)」、湿布菜も。内田美智子さん(埼玉・川越市)からカステラ。深澤明男・富士代さんから沢山のミカン。山崎さんから/Vツリ。若林さんから小豆の甘納豆。康江さんからは毎回、山形の大豆トラスの納豆をいただいている。



(夕食) マグロヒカの漬け(松田さん)、木刀魚の塩焼き、シタケの炭火焼き(守屋さん栽培)、カボチャのソテー(スズキさん栽培)、シラスと大根おろし、ヒラタケとナスの炒め物。この日、正士さん多岐そばは無し。



10月29日(土)、晴

静岡県立農林環境専門職大学の中山正典准教授が学生二人を伴ってみえた。猫の手クラブの活動の様子を知りたいとのこと。

一緒に丑さん裏高台③の草刈りに参加してもらおう。刈り払い機(6台83)の数が足らず、学生さんには1台を交代で使ってもらった。



昨日、昔乙女がやってくれたフェンスがらみのつる取り、ササの始末は美事にきれいにやっていた。

(昼)「元氣里山の大橋名人の手打ちうどん(天沢添文)をありがたいていただく。お代わりがほしい。ほかにはキャバツキムチ、イチジク、内田さんのカステラも。大勢に見送られ、天浜線敷地駅から帰途につく。次回、11/23~25、さしに11/8~10。



28日の台所



敷地駅のホームで